

氏名

私の

枚目

徒然草

兼好法師

つれづれなるままに、日暮らし
硯に向かひて、心にうつりゆく
よしなし事を、そこはかとなく
書きつくれば、あやしうこそも
のぐるほしけれ。

兼好の人生観や自然観は、
時代を超えた普遍性を持つて
いた。筆者の立体的で柔軟な
ものの見方を感じさせる作品。